



2002年  
(平成14年)  
3/28  
第1335号

# あだち広報

●発行/足立区 ●編集/清掃課  
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1

☎3880-5111(代)  
FAX 3880-5604(清掃課)

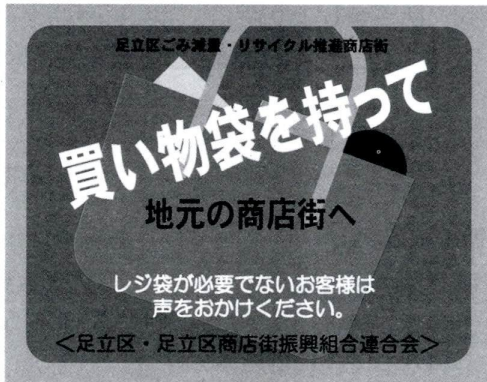
http://www.city.adachi.tokyo.jp/  
あだち広報は毎月10日・25日、  
ズームアップは奇数月1日発行



▲千住旭町商店街  
区民有志の方が「マイバッグ宣言」  
を読み上げた後、買い物袋を持参  
した皆さんへ区内共通商品券のプ  
レゼントがあり、大変にぎわいま  
した。

3月10日(日)区内6商店街で  
イベントを開催

▶このオレンジ色のステッカーを見たら勇気を  
出して!



「今度こそ持って行こうと思うけど、いつも忘れ  
てしまう」。「レジ袋はいりませんと言うタイミン  
グが難しくして…」そんなあなたを勇気づけるステ  
ッカーが、3月から区内商店街にお目見えしまし  
た。いつでも便利なレジ袋に頼ってしまいがちです  
が、ゴミを減らして環境を守るため、この機会に  
ご自分のライフスタイルを見直してみませんか?

足立区買い物袋持参推進キャンペーン

いらないレジ袋は  
もう、もらわない



好評です  
マイバッグ  
作り講座  
あだち再生館

「再生館ショップ」でおなじみの「あだち再生館」で静かなブームになっているのが「マイバッグ作り講座」です。使わなくなった傘の生地を再利用して作ったバッグは、色鮮やかで水に

がんばる。「足立区」ごみ減量・リサイクル推進商店街実行委員会  
足立区買い物袋持参推進キャンペーンを支えるのが、「足立区ごみ減量・リサイクル推進商店街実行委員会」の13人。足立区商店街振興組合連合会、あだちリサイクル協会、区職員の構成で発足し、「買い物袋持参推進」を進めるにはどうしたらよいかを検討してきました。  
「個人商店では、店主の方から「レジ袋は必要ですか?」とは言えない。お客様に「サビス悪いわね」と言われるのが一番こわいから」とは、実行委員長の植田清さん。しかし、「自分たちがやらなきゃはじまらない」と一歩を踏み出しました。  
今後、委員会では第2、第3のイベントを企画していく予定です。

◆足立区ごみ減量・リサイクル推進商店街実行委員会委員(敬称略) 委員長:植田清 副委員長:柿沼貫太郎・田村美佐子 委員:石川隆一・渡辺源勝・田中顕・宮崎文男・昼間貞夫・富田達夫・後野孝・豊千世・リサイクル推進課職員2人  
キャンペーン協力商店を募集しています  
買い物袋持参推進キャンペーンにご協力いただける区内小売店を対象に、店頭ではついでにだくステッカー(ポスター)を交付しています。くわしくはお問い合わせください。※足立区商店街振興組合連合会未加入の小売店で、ステッカー(ポスター)申請書を提出されていないお店が対象となります  
お問い合せ先  
☎(3880)5860

- 実行しよう5つのR
- Reject(ごみを拒否)
  - Reduce(ごみを減らす)
  - Repair(修理して使う)
  - Reuse(使いまわす)
  - Recycle(再生利用する)

みなさんの声  
「マイバッグと私」

●お店によってはポイント制度もあり、主婦としては集めがいがあって困るもの。困るのは夫と一緒に買い物の時。どうやら「レジ袋はいりません」と言ってポイントをゲットしている私がケチくさくみえるらしいんです。専業主婦の私は出来ることをしたいのに、夫と理解し合えなくて残念。(35歳女性)

●買物物にはできるだけ、丈夫な手提げ紙袋を持って行くことにしています。お店側も袋代として、五円でも拾円でも値引すればよい結果が生まれるのではないかと。(78歳男性)

●近所の店で豆腐を買ったとき、水が出てしまい、バッグと一緒に入っていたお菓子がぬれてしまったことがあります。また、一人暮らしなので、レジ袋は少量のごみを入れるのにも便利です。レジ袋も買い物によっては必要です。(68歳女性)

●ハンドバッグ、書類バッグなどのすべてのバッグに以前ストパーでもらった袋を入れていました。ですからレジ袋はもらわなくて済みます。

●レジ袋は小さくしたんでおけばかさばらないから便利です。この手間に不便は感じません。(50歳女性)

えっ、こんなに!!

使用量  
足立区28万世帯1年間  
約1,000トン  
(約1億8,200万枚)

収集・処理費用  
足立区1年間  
約6,000万円

資源のリサイクル(再生)率は年々向上していますが、出口対策よりも入り口から減らすのがやはり一番です。レジ袋も雨の日などには重宝しますが、家に帰ればそのままごみ箱行きになっていくものも多いため、レジ袋の使用量が減れば、商品の代金も安くなる!?

足立区で 買おう 食べよう 頼もう

裏面もご覧ください。

# カラスによるごみの散乱を防ぎましょう



最近、カラスによるごみの散乱被害が目立っています。被害防止は、エサとなる生ごみを食べさせないことです。区民の皆さんのご協力により防止策を実行して、カラスによるごみの散乱を防ぎましょう。

## ① カラスの実態と被害

東京23区内にはおよそ29,000羽のカラスが生息していると推測されています。巣は、大きな樹木や鉄塔など人から離れたところに作ります。カラスが増えた原因は、都会ではエサとなる栄養価の高い生ごみが豊富にあることによると考えられています。

カラスによる区内のごみ集積所の被害状況

区内ごみ集積所数	被害集積所数	被害率
16,651カ所	168カ所	1%

(13年12月調査)

防鳥ネット設置状況

区内ごみ集積所数	防鳥ネット設置数	設置率
16,651カ所	3,273カ所	19.7%

(13年12月現在)

## ② カラス被害を防止するごみの出し方

- 出来るだけ「ふた付きの容器」で出してください。  
(収集後、容器は引き取ってください。)
- 区の推奨袋などを出す場合は、よく水切りをして、臭いが出ないよう袋の口をきちんとしばって出してください。また、肉や魚などの生ごみは、袋の中におしこんで隠してください。
- 防鳥ネットがある場合は、ごみ袋全体をネットでかぶせてください。収集後は、通行のじゃまにならないようにしてください。
- ごみ出しは、前日のうちに出さず、収集日の朝8時までに出してください。



## ③ 清掃事務所では……

- 防鳥ネットを無料でお貸しします。  
お気軽に管轄の清掃事務所にお問い合わせください。
- 集積所の巡回点検をしています。また、カラスの繁殖期には、早朝の排出指導も行います。

## ④ 区民の皆さんにお願い

- ごみの減量やカラス対策として、つぎのような対策もあります。ぜひ、ご協力願います。
- 調理の工夫などで食材のむだをなくし、食べ残しを少なくしましょう。
  - コンポスト化容器や生ごみ処理機の利用は、生ごみの減量に役立ちます。  
区の購入補助金がありますので、**必ず購入前に**、リサイクル推進課(☎3880-5860)にお問い合わせください。
  - カラスの巣の材料となる「針金ハンガー」をカラスに持ち去られないようにしてください。

### (問合せ先)

足立東清掃事務所(千住地域及び国道4号線東側) 電話3889-0711 (所在地)足立区中央本町1-12-24  
 足立西清掃事務所(足立東以外の地区) 電話3853-2141 (所在地)足立区東伊興1-6-12  
 清掃課 電話3880-5813 (所在地)足立区中央本町1-17-1(区役所内)